



全カリ科目で統計に強くなろう!

「景気・格差問題と統計情報」「統計情報で社会・経済を診断する」



リコちゃん

みなさん、こんにちは！私は CSI オリジナルキャラクターのリコです！21世紀はビッグデータの時代と言われてますよね。その中でも必須の知識が「統計学」の知識です。CSIは全学共通科目で【景気・格差問題と統計情報】と【統計情報で社会・経済を診断する】という2つの科目を提供しており、今回はこれらの授業内容を取り上げていきます！早速ですが、同じくCSIキャラクターのポコ先生に、この2科目では、どのようなことを学ぶのか聞いてみましょう！

この2科目は、公的統計から現代の経済・社会について理解を深めることを目的としています。現代社会は、多くの情報であふれかえる時代で、生きていく上で様々なデータをもとに意思決定を行うことの重要性が日々増えていますよね。でもデータの重要性は、最近になって認識されたことではないのです。人類の歴史においては、データから経済や社会の状態を把握し、適切な政策を行うことが常に重要視されてきました。これらの科目では、政府等の公的機関が作成している統計の歴史、仕組み、そして公表された統計データを参照しながら、格差・労働・景気などの現代日本をとりまく様々な問題について理解を深め、議論を通じて主体的な考え方を身に付けていきます。



ポコ先生

なるほど、公的統計データを元に、社会問題等を読み解くスキルを学ぶのですね！

そうですね。この統計データを扱うには、当然統計学の知識が必要になります。2科目ではそれぞれ、経済統計や数理統計の基本的な事項を解説した後、実際に e-Stat、jSTAT MAP、RESAS などのデータにアクセスし、データの海から必要な情報を計算によって導き出す方法を学習します。具体的には人口ピラミッドや出生率などを人口統計から、労働力人口や失業率などを労働統計から、賃金カーブやジニ係数などを賃金統計から、家計消費や消費者物価指数などを消費統計から、景気動向指数や在庫率指数などを景気調査から演習を通して学びます。14回の授業を終えたあとは、テレビ・新聞・インターネットで目にする様々な統計指標の意味や、それらが持つ嘘や欺瞞を見抜けるようになっているはずですよ。



それはすごい！社会人になってからも役立つ知識が身に付けられますね。

その通りです。実際これらの授業で学ぶことは、将来公務員などになり、統計データを作成したり、政策決定をする立場になったときに必要な知識ですし、民間企業で働く際にも必ず役立ちます。民間企業では意思決定に公的統計が広く利用されていますし、それだけではなく、企業自らがデータを収集し、分析するケースも少なくありません。そのためこれからの社会人には必須のスキルとなりますね。来年度からこれらの科目は、CSI オンデマンド科目としてリニューアル予定です。興味を持たれた方はぜひ来年度、受講してみてくださいね。より統計などの学びを深めたい方は、合わせてグローバル教養副専攻のデータサイエンスコースを修了されることもお勧めします。



グローバル教養副専攻のデータサイエンスコースで、統計に強くなろう！ 修了要件は関連科目の履修（16単位）と海外体験です。「調査の基本」を学ぶ科目（第1系列）を4単位、「データ活用の基礎」を学ぶ科目（第2-1系列・英語科目は第3-1系列）を4単位、「発展的なデータ活用」を学ぶ科目（第2-2系列）を4単位 + すべての系列から4単位（自由選択）を履修してください。**科目一覧はこちら** → https://spirit.rikkyo.ac.jp/rmp/course/Documents/Data_Science_2021.pdf、または下記QRをご参照ください。

海外体験もさまざまなプログラムが選べます。コロナ禍でも参加可能なオンライン・プログラムもあります。

海外体験プログラム詳細はこちら → <https://spirit.rikkyo.ac.jp/rmp/study-abroad/Pages/default.aspx>

CSIでもご相談を受け付けています。csi-info@rikkyo.ac.jp または 03-3985-4459 までご連絡ください。



社会調査や統計学の学びを実践！
学外コンテストへチャレンジ！

立教大生が入賞

2020年度「第4回 和歌山県データ活用コンペティション」では、CSI 政府統計部会リーダー櫻本先生のゼミ生が「データ活用賞」を受賞しました！このコンペティションでは、過去に大賞も受賞しています。皆様もチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。→詳細はニュースレターVol.3をご覧ください

統計データ分析コンペティション（独立行政法人統計センター）

教育用標準データセット（Standardized Statistical Data Set for Education: SSDSE）を利用した総務省統計局が実施する統計分析コンペティション。<https://www.nstac.go.jp/statcompe/>



マーケティング分析コンテスト（野村総合研究所）

野村総合研究所が収集した消費者マーケティングデータを学術研究やマーケティング実務へ活用することを目的としたコンテスト。
<https://www.is.nri.co.jp/contest/2021/>



和歌山県データ活用コンペティション（和歌山県）

データ活用による県内産業の活性化と次世代のデータサイエンティスト育成を目的とした「和歌山県データ活用コンペティション」を開催。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/d00206960.html>



スポーツデータ解析コンペティション

データスタジアム株式会社が提供する野球およびサッカーの実データを利用し、応用研究の促進と研究結果を現場に還元することを目的とするスポーツデータ解析のコンペティション。
<https://estat.sci.kagoshima-u.ac.jp/sports>
※6月15日現在、まだ今年度の情報は更新されていません。

● グローバル教養副専攻 Discipline Course ＜テーマ＞ Data Science（データサイエンス）

グローバル教養副専攻では、これからの社会でより必要とされる知識やスキルを、みなさんの興味・関心に沿って身につけることができます。データサイエンスに関心のある方は、ぜひご登録ください。卒業時に大学から終了証が発行されます。

■ 履修要件 関連科目 16 単位の履修・海外体験

現在、新型コロナウイルス感染拡大にともない、オンラインでの海外体験も可能です。

グローバル教養副専攻に関するお問い合わせ

* 履修に関するお問い合わせ 池袋・教務事務センター（タッカーホール1階）／新座・教務事務センター（7号館1階）

* 海外留学プログラムに関するお問い合わせ 池袋・グローバルラウンジ（マキムホール中2階）／新座・グローバルラウンジ（8号館1階）

● 関連情報

データサイエンス副専攻と関連する資格や検定試験についての情報です。

ともにデータサイエンス副専攻を主管する社会情報教育研究センターで対応していますので、質問等がある場合は下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

● 社会調査士資格

「社会調査士」は、一般社団法人社会調査協会によって認定される資格で、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査などの結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要な能力を持った「社会調査の専門家」のことです。資格取得のためには、標準カリキュラムのA~Gに対応している科目を取得済みであること、学部を卒業することが必要です。

● 統計検定

「統計検定」とは、統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験です。データにもとづいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力は、仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められています。

■ News Letter 第7号 2021年7月発行

- 編集責任者：水上徹男（CSIセンター長）
- 編集者：山口和範（統計教育部会）
- 編集・発行：社会情報教育研究センター（CSI）

・ Tel : 03-3985-4459
・ Email : csi-info@rikkyo.ac.jp
・ <https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>
立教大学 池袋キャンパス 8号館4階



詳しくはこちら

